

事例  
10-00

## 「やくし日曜日」の開催

佐伯区・薬師が丘団地

【取組主体：薬師が丘連合町内会】

### 概要

団地住民の生活利便性の向上と、住民の交流の場とすることを目的として、毎月第4日曜日に「やくし日曜日」を集会所広場にて開催しています。

### 取組内容

- 薬師が丘団地は完成から40年が経過し、スーパーの撤退、バスの減便などにより生活の利便性が低下しつつあります。またコミュニティの希薄化が進む中、連合町内会は、住民のふれあいと交流の場が必要だと考え、「やくし日曜日」の開催が始まりました。
- 日曜日には、団地の近くのパン屋さんや浜田市の魚屋さんによる出張販売のほか、地元住民が家庭菜園で作った野菜の販売もあります。また、住民ボランティアの協力のもと、住民が語らう休憩コーナーで、コーヒーやぜんざい・焼きいも（冬場のみ）なども提供しています。
- テントは目立つようにカラフルなものを選んでいきます。会場設営の準備は連合町内会役員や有志 15名～20名で行っています。

＜やくし日曜市の概要＞【平成29年12月時点】

開催日時	毎月第4日曜日 13時～14時
場所	薬師が丘第一集会所広場
来場者数	50名～80名
費用	10万円（小型テント6組、幟旗10セット等） ※全額市の補助金「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金により対応

### ポイント

- ★買い物だけでなく、地域コミュニティの場となるよう休憩コーナーを設けています。
- ★家に引きこもりがちだった高齢者の方が日曜日に来られるようになり、外出機会にもなっています。



ぜんざいやコーヒーも販売



多くの人で賑わっています